

教科(科目)	芸術(美術I)	単位数	2単位	学年(コース)	4学年(選択)
使用教科書	高校生の美術1 (日本文教出版)				
副教材等					

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。</p> <p>②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切にする思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。</p> <p>③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～</p> <p>①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。</p> <p>②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。</p> <p>③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。</p> <p>④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。</p>

### 2 学習目標

<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
---

### 3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現活動における「人」「もの」「こと」との関わりから、表現活動の基礎的能力の育成を図る。</li> <li>・一人ひとりの特性や個性を尊重し、独創的かつ個性的な表現方法の基礎的能力を育む。</li> <li>・表現と鑑賞の一体的な関係性を考慮し、学習環境のデザイン化を図る。</li> <li>・作品の独自性、密度の高さ丁寧な細工を重視する。</li> </ul>
--

#### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。</li> <li>意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。</li> </ul>	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

#### 5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>提出作品の内容、完成度</li> <li>授業への取り組み</li> </ul> などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現や鑑賞への姿勢</li> <li>授業への取り組み</li> </ul> などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み</li> <li>作品の提出状況</li> </ul> などから、評価します。

#### 6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	はじめに	2 「鑑賞」	教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション</li> <li>○鑑賞レポート</li> </ul>	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞への姿勢</li> </ul>
5	歪み絵	16 「表現」 /絵画	アナモルフォーシス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下絵を方眼紙の座標に合わせて扇状に歪ませる。</li> <li>○歪ませた絵をカーボン紙で画用紙に写し、色を塗る。</li> <li>○扇状の絵に鏡面の筒を置き、正しい像が映るか確認する。</li> </ul>	a、c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元の絵を分かりにくくするデザインの工夫</li> <li>・方眼の座標を丁寧に読み取る。</li> </ul>
6						
7	切り絵の スタンドグラス	20 「表現」 /デザイン	プッシュアップ テンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プリントを参考に原案を考える。</li> <li>○台紙を切り抜き、スタンドグラスを模した枠を作る。</li> <li>○切り抜いた部分にカラーフィルムを押し付け、彩色する。</li> </ul>	a、c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンドグラスの色、形にあったデザインの工夫</li> <li>・配色・混色の工夫</li> </ul>
9						
10	不自由な 木工	1 「鑑賞」	細長い木材	<ul style="list-style-type: none"> <li>○決められた仕組みに沿った表現</li> <li>○作品レポート</li> </ul>	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞への姿勢</li> </ul>
11		13 「表現」 /デザイン		<ul style="list-style-type: none"> <li>○細い木材から同じ形のパーツを決められた個数だけ作り、余らせずに全て使用して立体構成する。</li> </ul>	a、c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成品を意識した設計の工夫</li> </ul>
12	鑄金	12 「表現」 /彫刻	ペーパー メタル	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コルクや厚紙の素材を切り抜いて原型を作る。</li> <li>○原型を板で挟み、熱した金属を流し込む。</li> </ul>	a、c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑄造の成功</li> <li>・複雑なデザインの鑄造</li> </ul>

1	写真	2 「表現」 /映像メディア表現	コラージュ	○写真の切り取りや組み合わせの美しさを表現する。 ○作品レポート	a、c	・構図や画面構成の効果を工夫する。
2	石工	1 「鑑賞」	まが玉・	○古代日本のエッセンス	b	・鑑賞への姿勢
		5 「表現」 /彫刻	古代の首飾り	○まが玉など宝珠の彫刻。 ○カラフルなウッドビーズやガラスビーズを独創的につなぐ。	a、c	・材料の理解 ・配色の工夫
3	まとめ	1 「鑑賞」		○美術の学習のまとめ	b	・鑑賞への姿勢

計73時間(48分授業)

## 7 課題・提出物等

授業で制作した物、指示があった物は必ず提出してください。

## 8 担当者からの一言

自分自身が制作者の立場に立って、一生懸命に作品制作をしましょう。(担当：渡邊 陽介)